

平成29年度 第1回新居浜市地域公共交通活性化協議会議事録

○日 時 平成29年6月27日(火) 13:30～14:45

○場 所 新居浜市役所 3階 応接会議室

○出席者 ・協議会委員：寺田政則会長、星加勝一副会長
渡部光男委員(代理)、河渕茂委員、関谷俊夫委員(代理)、
窪仁志委員(代理)、白石昌史委員、森本英二委員、
田村修也委員、三木博喜委員、今村美鈴委員、矢野英司委員、
永易大典委員、砂田篤志委員、中川美奈子委員、谷本昌啓委員、
山下文明委員、鴻上浩宣委員 18人

(欠席)

高橋昭雄委員、越智千鶴子委員 2人

・事務局：宮崎 運輸観光課長(事務局長)
安永 運輸観光課副課長(事務担当)
正岡 運輸観光課副課長(事務担当)
二宮 運輸企画係長(事務担当・出納員)

・傍聴者：3人

○会議次第

1. 開 会

2. 協議事項

- (1)平成28年度事業報告及び決算の承認について
- (2)生活交通確保維持改善計画(平成30～32年度分)の策定について
- (3)新居浜市地域公共交通網形成計画の策定について

3. その他

- (1)年間スケジュールについて

4. 閉 会

1. 開 会

【宮崎事務局長】

定刻が参りましたので、ただいまから、平成29年度第1回「新居浜市地域公共交通活性化協議会」を開催いたします。

本日の出席状況ですが、愛媛県ハイヤー・タクシー協会の高橋委員さん、新居浜市社会福祉協議会の越智委員さんからご欠席とのご連絡を頂いております。現在20人中18人のご出席で過半数を超えていますので、協議会規約第8条第2項に基づきまして、会議を進めさせていただきます。

また、本日は代理出席として、新居地区旅客自動車協同組合から八田様、愛媛県バス協会から稲荷様、四国旅客鉄道株式会社から伊藤様にご出席いただいております。どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、本日の会議は、協議会規約第8条第4項に基づきまして、公開とさせていただきます。事前に開催日時などを市民にお知らせして傍聴を認め、会議の開催結果についても、議事録などを公表することといたしておりますので、ご承知いただけますようお願いいたします。

それでは、議事に入ります前に、2名の委員さんが交代されましたので、恐れ入りますが自己紹介をお願いいたします。

まず、国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所 森本様、お願いいたします。

次に、愛媛県東予地方局総務企画部 中川様、お願いいたします。

引き続き、事務局職員の自己紹介をさせていただきます。

(委員、事務局職員自己紹介)

それでは、これより、会長の議事進行をお願いいたします。

2. 議事

【会長（副市長）】

それでは、会議次第に従いまして、議事を進行させていただきます。

まず、平成28年度事業報告及び決算について、事務局から報告願ひます。

(事務局より報告)

【会長（副市長）】

ありがとうございました。それでは、平成28年度の収支決算につきまして監査をしていただいておりますので、監事を代表して、矢野監事さんから監査報告をお願いいたします。

(矢野監事より監査報告)

【会長（副市長）】

ありがとうございました。それでは、ただいまの報告内容につきまして、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

【会長（副市長）】

ご質問、ご意見がないようでしたら、協議事項(1)の平成28年度事業報告及び決算につきまして、ご承認いただくことでよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご異議がございませんようですので、そのように決定とさせていただきます。

【会長（副市長）】

次に、協議事項(2)生活交通確保維持改善計画(平成30～32年度分)の策定について、事務局から提案願います。

(事務局より提案説明)

【会長（副市長）】

ありがとうございました。それでは、協議事項(2)につきまして、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

【谷本委員】

国庫補助上限額については、算定式の変更により補助金額が減少しているとのことですが、その差額については新居浜市の負担が増えているということでしょうか。

【事務局】

はい、その差額分につきましては、新居浜市が負担しておりますので、負担額が増加しているということになります。

【会長（副市長）】

他にご質問、ご意見がないようでしたら、協議事項(2)の生活交通確保維持改善計画(平成30～32年度分)の策定について、ご承認いただくことでよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご異議がございませんようですので、そのように決定とさせていただきます。

【会長（副市長）】

次に、協議事項(3)新居浜市地域公共交通網形成計画の策定について、事務局から提案願います。

(事務局より提案説明、パシフィックコンサルタンツ(株)より業務内容説明)

【会長（副市長）】

ありがとうございました。それでは、協議事項(3)につきまして、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

【永易委員】

資料1の4ページ、路線バスの利用者についてですが、事業者の方も路線変更をしていただくなど努力していただいている中、表記は減少傾向となっているが、このデータを見るとそもそも平成24年度以降減少しているとは思えない。横ばいなのではないのか。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

これから利用者を増やしていきたいという思いから、減少傾向と表記しており、事業者様をはじめ協議会の皆様のご努力は認識いたしております。そのため、計画としてまとめるうえでは、表現の方法につきましては見直してまいりたいと思います。

【永易委員】

すべてバスの利用者が減少しているという前提で成り立っているのではないかと。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

バスの利用者が減少しているという前提で成り立っているとは思っておりませんが、これから高齢者が増えたり、あるいは持続可能な交通にしていくためには利用者を増やしていかないと市の財政に影響を与えることから、利用者を増やしていかないとけないという思いから減少と表記しており、減少ととらえるか、横ばいととらえるかに関わらず持続可能な公共交通を目指していくためには、今以上に利用者を増やしていくことが必要であると考えておまして、そういう意味では減少にとらわれている訳ではないと考えております。

【会長（副市長）】

表現の仕方は別として、考え方としては今後利用者を増やしていきたいということで、資料の作成の仕方についてもそのあたりを配慮しながら進めていただけたらと思います。

【永易委員】

選択肢として、上部、川東地区にはデマンドタクシーが運行しておりますが、川西地区は路線バスはある程度充実しているものの、高齢者はバス停まで歩いて行くことが困難でありという声を多く聞くが、川西地区へのデマンドタクシーの導入について今回策定する計画の中で協議はしていくのか。

【鴻上委員】

本計画策定の中で、そういったことも必要であれば計画の中にも入れていく予定であるが、ただ、バス事業者様やタクシー事業者様とも協議が必要となりますため今後状況をみながら進めていきたいと考えております。

【永易委員】

やはり、高齢者の方はデマンドタクシーのメリットであるドア to ドアを望まれる方が多く、バスに乗車できない方も多くいらっしゃるため、川西地区へのデマンドタクシーの導入についての希望などもアンケートで調査してみてもどうか。

【会長（副市長）】

川西地区へデマンドタクシーを導入してほしいという要望があることは存じ上げておりますが、路線バスやタクシーなどを含め公共交通を総合的にとらえて計画を策定の中で課題の一つとしてとらえていかないとけないと考えております。

【砂田委員】

公共交通に関するアンケート調査の中で、3ページのQ-3-2で、運営はバス利用者の運賃収入によって行われるべきで、とあるが、地方のバスは補助金で成り立っておりますのでこの質問はどうかと思うが。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

採算で成り立てば良いという意味で質問している訳ではなく、現在のバスの運行の状況を踏まえ、このアンケートにお答えいただく方にとってバスがどういうものなのかを聞いてまいりたいということがあり、選択肢の一つとして書かせていただいているというところでもあります。ですので、それを目指すとかそれが良いということを知っているのではないということをご理解いただけたらと思います。もちろん、補助金のことや現状については認識はしております。

【砂田委員】

一般の人は、バスのこういった状況は知らない人がほとんどであると思います。ですので質問の書き方を変えないと、わかりにくいのではないのでしょうか。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

この公共交通に関するアンケートを配る際には、アンケートのお願いをつけさせていただきます。おっしゃる通り、市民の方は現状を知らない方が多いと思いますので市の補助金の状況などをきちんと認識していただかないといけませんので、市補助金や利用者数の推移をきちんと示し認識していただいたうえでアンケートにお答えいただくという形をとらせていただきたいと思いますと考えております。

【会長(副市長)】

この質問の表現の仕方についてはどうするのか。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

表現の仕方については、事務局とご協議させていただけたらと思います。具体的に申し上げますと、「基本的に利用者からの運賃収入によって成り立っており、」の部分で「利用者からの運賃収入と国・県・市の補助で運行が成り立っております。」というような表現に変えさせていただきたいと思います。

【会長(副市長)】

このような表現でよろしいでしょうか。

(了承)

それでは他にございませんか。

【谷本委員】

2点ほどありまして、可能であれば設問に追加をお願いしたいのですが、まず1点目、運転免許についての質問で、免許を返納した場合家族の中でその後の交通手段に

ついてどのように考えるのかといった、どのような意識をお持ちなのかというところを聞いていただきたい。2点目として、せとうちバスさんが利用促進を図っておられますが、こういった取り組みについて市民の認知度やこの取り組みをどう考えるかといった質問を追加していただきたい。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

まず、1点目免許返納につきましては、1ページ目の質問に加えて、免許返納後の交通手段等についてもこちらの方に反映していきたいと考えております。2点目の利用促進につきましても、バスの利用につながる質問に加えて、市民の皆様の認識について意見を拾えるよう工夫したいと思っております。

【谷本委員】

せとうちバスさんは、運転免許証自主返納者の方に対して、運賃を半額にするサービスを実施していますが、そういったことも伝わっているかということも項目で入れていただけたらと思っております。

【河淵委員】

平成29年4月1日から、運転免許証自主返納者に対する運賃半額のサービスを実施しておりますが、今治から四国中央市までの路線で、延べ人数で4月が275名、5月が534名で5月は新居浜市のご利用の方が増えている状況でございます。

【会長(副市長)】

利用促進の周知状況を把握するという意味からも、質問の中に追加していただいてよろしいでしょうか。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

アンケートというだけではなく、こういった利用促進事業のPRにもつながっていくと思っておりますので、修正してまいります。

【砂田委員】

労働組合の立場から言わせていただきますが、6ページの利用条件が増える条件を選ぶ質問がありますが、現在、バス運転士は大変不足しておりその中でやりくりをしています。その状況で、運行本数を増やすということは、人力的また車両数において困難でありすべてを事業者に求めますと労働条件にしわ寄せがきます。賃金は上がり合理化が求められると事故にもつながりかねないため、安全には一定のコストがかかってくるという認識のうえで、この協議会でも議論していただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

現在のバス業界の状況は我々も認識はしております。皆さんにサービスについてお聞きすると上げてほしいという声があがることも認識しております。その中で、今いらっしゃる運転士さん、バス車両の台数、これを十分考慮したうえで皆さんのニーズに合った運行についてこの計画策定の中で考えていきたいと思っております。単純に

サービスだけを上げるということは考えておりません。

【砂田委員】

もう1点、補助金は必要なものであり、事業者だけに負担を求めていくのではなく、行政サービス、福祉の一環として補助金は使われるものだと思いますので、バス運転士の労働条件等をご理解いただいたうえで、計画の策定を進めていってほしい。

【森本委員】

利用実態調査のデマンドタクシー調査についてですが、土曜日の午前中の運行もやっているため、平日と土曜日、あとエリアごとで調査することで課題についても出てくるのではないかと。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

デマンドタクシーの状況については、一日あたりの利用者が100人には届かない数ということですので、1日だけで調査を行うという訳ではありません。数日間、月曜日から土曜日までの調査を行う予定で、エリアごとで調査するというご意見につきましても、うまくサンプルがとれるように調査を実施してまいりたいと考えております。

【森本委員】

平日と休日ではニーズが違うと思われるので、平日は平日の方、休日は休日の方に限ってアンケートを実施した方が目的がはっきりすると思うのですがいかがでしょうか。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

平日と休日で使い方が違うのではというご意見が出ておりますので、休日一日だけであるとサンプル数をとるのが難しくなるとお考えですので、土曜日だけは調査日数を増やすといった形で対応させていただきたいと思っております。

【会長(副市長)】

他にご質問、ご意見がないようでしたら、協議事項(3)の新居浜市地域公共交通網形成計画の策定については、こういった形で進めさせていただくということよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご異議がございませんようですので、そのように決定とさせていただきます。

3. その他

【会長(副市長)】

続きまして、「その他」に移りたいと思っております。

年間スケジュール等について、事務局から報告をお願いします。

(事務局から報告等説明)

【会長（副市長）】

ありがとうございました。それでは、ただいまの報告内容につきまして、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

(なし)

【会長（副市長）】

ご質問、ご意見がないようでしたら、報告があった内容で、各事業につきまして実施をしておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

その他、どのようなことでも構いませんので、各委員の皆様方から、何かご意見や参考になるようなことがございましたら、ご発言をお願いいたします。

【八田様】

新居地区旅客自動車協同組合よりお知らせいたします。以前からご要望のありました、タクシーの一般旅客運賃について割引制度を導入いたします。対象は、運転免許証自主返納者の方で1割引とさせていただきます。ただし割引には、運転経歴証明書の提示が必要となります。現在、各事業者で申請を進めておりますため、全事業者同じ日に開始という訳ではありませんが、早いところでは7月頃から順次サービスを開始する予定ですのでご報告いたします。

【永易委員】

ありがとうございます。免許返納を促すということは警察署の方もおっしゃっておりますが、これで大変促しやすくなります。

【星加委員】

船木の高祖自治会の方から、角野船木線が開通になりましてぜひこの路線にバスを運行してもらえないかという要望が出ておりますので、難しいとは思いますがまた状況を見ながらお願いに伺うかもしれませんのでよろしくお願いします。

【田村委員】

先ほどの運転免許証自主返納のお話で、具体数は特にまとめてきていないのですが前回の協議会で永易委員さんからお話もありました、認知症の検査については警察署のHPで公開しておりますのでどういった検査をしているのかご興味のあるかたはご覧ください。認知症の検査を実施する方は思ったほど増えておらず、免許証自主返納者は日々増えている状況です。自主返納者へのメリット、例えば路線バス運賃の半額割引などについては口頭でお答えはしていますので、今回タクシー事業者さんの割引の話についてもあわせてさせていただくようにいたします。

また、運転経歴証明書の発行に際し、千円の費用がかかること、写真が必要である

こと、また運転経歴証明書作成後に再度取りにいかないといけないことが必須であり、取りに行けない方には392円分の切手を持参していただく事で郵送対応をしているが、足がない方には負担が大きいため作成をやめられる方もいるため、何とかできないかと考えているところでもあります。運転経歴証明書がなければ割引サービスも受けることができないため、できれば免許返納者全員が運転経歴証明書を作成していただけるよう、また警察としても運転経歴証明書の交付率を上げるよう努力したいと考えております。

【永易委員】

私も身内が自主返納した際、必要なものを言われ、車の運転ができる者が一緒であったため対応できたが、もし高齢者がお一人で行かれていた場合おそらく無理だと思う。解決方法としては、県と市で行政が違うので難しいかもしれませんが、例えば切手代を行政負担にするだとか、写真についても運転免許証の場合と同じように対応していただくとか何らかの方法で進めていただけたらと思います。

【田村委員】

切手代金については何とかできないかなということ、現在、新居浜市さんと協議をして進めている状況です。あと、写真については県内の某所では安全協会さんが写真を撮っているところもあるようですが、こちらは人員の確保の問題がありますので安全協会と協議しております。できる限り、ひとつずつでも実施していきたいと思っております。

【会長（副市長）】

郵送料につきましては、今、市と警察署で協議しておりますので、何らかの形で検討したいと考えております。あと、インセンティブの周知の件につきましては、事業者と警察の方で連携していただければと思います。

【会長（副市長）】

それでは、各委員さんから、ご意見等もないようでございますので、最後に、事務局から連絡事項がありましたらお願いします。

【宮崎事務局長】

本日は、御審議ありがとうございました。生活交通確保維持改善計画につきましてご承認いただきましたので、引き続きデマンドタクシーの運行を実施してまいります。また、並行して、新居浜市地域公共交通網形成計画の策定を進めてまいります。今後開催予定であります本協議会におきまして、委員の皆様には引き続き御審議いただくこととなりますので、よろしく願いいたします。

あと、2点ほどご連絡がございます。まず、1点目といたしまして、本協議会の主催事業ではございませんが、新居浜市では、市制施行80周年記念のイベントのひとつといたしまして、せとうちバスさんのご協力をいただきまして「公共交通 いはまめぐりシールラリー！！」を実施する予定でございます。内容等につきまして

では、本日お配りいたしましたチラシをご覧ください。開催期間は、平成29年7月1日から10月31日までで、路線バスなどの公共交通を利用するともらえるシールと、市内の観光施設（対象6施設）でもらえるシール、この2種類のシールを専用応募はがきに貼ってご応募いただきますと、抽選で80名様にプレゼントが当たるというイベントでございます。

普段、マイカー移動が主となりますが、公共交通を利用するきっかけづくりと、観光施設に足を運んでもらう機会づくりといたしまして、また、身近で環境にやさしい公共交通として路線バス等を利用することで、普段とは違う景色を味わい、新たな発見につなげていただくことで、公共交通の利用促進を図りたいと考えております。そのため、委員の皆様を含め、たくさんの方にご応募いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

次に2点目といたしまして、皆様もご存知のとおり、平成29年9月30日からえひめ国体が開催されます。新居浜市でも4競技が開催され、県内外からも多くの方が新居浜市に来られます。その際、公共交通を利用される機会が増えると思われることから、えひめ国体開催前に交通乗務員等の方を対象といたしまして、えひめ国体新居浜市実行委員会主催で8月22日、8月23日の二日間、接遇研修を実施させていただくこととなりました。そのため、交通事業者の方々にはお忙しいところ大変申し訳ありませんが、本研修にご参加いただけますようご協力をお願いいたします。

次回の開催月は9月を予定しておりますので、日程につきましては会長、副会長さんと調整させていただいて、改めて御案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

4. 閉会

【会長（副市長）】

以上で、予定をいたしておりました事項をすべて終了いたしましたので、本日の会議は散会いたします。皆様ありがとうございました。